

一般質問

宮嶋 謙 議員



Q 乗合タクシーの来年3月の廃止は、議会の決議に従って白紙に戻すべきではないか伺う

A 現在の時点において、廃止をとりやめるという方向性ではございません

Q 第2回定例会に提出された「乗合タクシー存続と制度拡充を求める請願」については趣旨採択、定期的な改善を定めた制度設計で事業の継続を図ることを求める付帯決議は全会一致で決議されたが、直後の地域公共交通会議では「委員の皆様のご意見を尊重して廃止の方向」と答弁し、議会の決議を無視している。市民と議会を軽視しているのではないかと伺う。

A 市長 議員の付帯決議、それから審議委員さんのご意見、それらを重く受けとめております。さまざまな角度から十二分精査をして、広く市民の皆さんの役立つ公共交通の実現に向けて進めてまいりたいと思っております。

Q 市内小中学校から教育委員会に、雨漏り、フェンスの破れ、トイレ破損、照明が切れている、水はけが悪い、教室インターホンがないなど、様々な修繕要望があげられているが、十分な対応がなされていない。市の教育予算は他市町村と比べても少なすぎるのではないかと伺う。

A 教育長 教育予算に関してはできるだけ増額の方向で考えていただければありがたいと思っておりますが、なかなか難しいところがございます。恒常的に教育予算が十分配分されることを私からも強くお願いしていききたいと思っております。

1 高齢者や交通弱者の生活を支える乗合タクシーの廃止方針について
32 高齢ドライバーの事故防止対策について
校舎の雨漏りや施設の破損修繕など、教育環境の改善への取り組みについて



▲乗合タクシー（霞ヶ浦地区）

川村 成二 議員



Q 教職員の働き方改革について対応が必要と考えるが見解を伺う

A 学校現場の声を踏まえながら適切な環境づくりを進めてまいりたい

Q 学校における教職員の働き方改革について、学校現場から改善を求める声があがっている。学校における教職員の働き方改革を推進するためには、労働実態を正しく把握し、そして分析し、学校現場の声を広く吸い上げ、対策を検討することにあると考え、見解を伺う。

A 教育長 学校における教職員の働き方改革を推進するためには、学校現場の声を踏まえた支援体制づくりが必要であると考えております。今年度6月に策定しましたかすみ市がうら市教職員の働き方改革方針をもとに、今後も教職員一人一人が勤務時間を意識した働き方を実践できるよう、働き方に対する意識化を一層充実させるとともに、学校現場の声を踏まえながら教育活動に専念できる適切な環境づくりを進めてまいりたいと考えております。

Q 空き家と認定したもので、早急に対応が必要とされるものについてこれまでの取り組み経過と今後の対応について伺う。

A 市民部長 所有者により管理いただくことが原則であり、何らかの形で敷地外の第三者に対して影響があった場合には所有者に責任が発生することとなります。そのため、周辺住民等から管理に関する問い合わせなどがあつた場合には、所有者に対し適正な管理を行うよう指導通知を発送し、その対応をお願いしているところですが、今後もしこうした案件に限らず空き家の管理状況を確認し協議会のご意見も賜りながら対応をしていききたいと考えております。

1 「学校における教職員の働き方改革」を効果的に推進するための基礎データの把握状況と今年度の取り組みの進捗状況及び今後のありさまに向けた検討について
2 空き家対策の取り組み経過と今後の対応及び空き家を発生させない改善の策への取り組みについて



久松 公生 議員



Q 子どもミライ学習事業において考案した新商品の今後の展開について伺う

A 体験型の販売にとどめず、事業成果を高めてまいりたい

Q 4年目を迎えた子どもミライ学習では、目的である愛郷教育、キャリア教育という面で効果、成果が出ているものと考えています。先日、霞ヶ浦中学校が考案した新商品の販売体験があゆみ祭りでした。いへん盛況であったが、中学生が作成した新商品及び今後の展開について伺う。

A 教育部長 今年度、霞ヶ浦中学校では「恋焼き」という苺のディップソースをかける鯉をかたどった、たい焼きを商品化しております。また、下稲吉中学校では地元の新商品の「シラウオとレンコンを使用した「シラレンコロケパン」」「千代田中学校では「ひんやりあったか苺大福」という苺大福の中に冷たいアイスを入れ、綿あめを乗せた上に温かい苺ジャムをかけたものを商品化する予定でございます。今後は、開発された新商品を体験型の販売だけにとどめず、地元の事業者などと協力し、それぞれの関係部署と連携を図りながら、子どもミライ学習の成果を高めてまいりたいと考えております。

Q 歴史博物館は歩崎地域観光で本市は歴史博物館を観光振興の拠点としてどのように考えているのか伺う。

A 教育部長 文化財保存活用地域計画を策定し、歩崎地域における魅力的な観光スポット、観光施設の整備を計画していきたいと考えております。また、多言語対応の施設整備についても念頭に置き、日本人のみならず様々な外国人に対応できる体制を整えていかなければならないと考えております。

4321

質問事項

かすみがうら子どもミライ学習について
かすみがうら市のひきこもり支援について
かすみがうら市歴史博物館について
スマートインターチェンジ設置について



▲あゆみ祭りで「恋焼き」を販売する中学生

設楽 健夫 議員



Q 市いじめ防止条例の対象案件について伺う

A 学校からの報告を受け、市長に報告いたしました

Q いじめ事案に対して、条例に記載されている市いじめ防止条例の対象案件としたのはいつか伺う。

A 教育部長 答弁に入る前に一言申し上げます。学校は、安全の確保が絶対視されなければならず、ご質問につきましては、学校、教育委員会ともにしっかりと反省し再発防止に取り組んで参りたいと考えております。当該事案につきましては、2月27日に発生したことを受け、「身体に重大な障害を与えたいじめ」と捉え、市いじめ防止条例第16条における重大事態として学校からの報告を受け、同条例第17条第1項に基づき、3月1日に市長に報告いたしました。今後も、再発防止に向け、学校と教育委員会が連携を図り、助言指導に取り組んでまいります。

Q いじめ事案に係るカウンセリングはどのように行われてきたのか、また、10月に発生した生徒間トラブルについてどのようなことが起こり、学校はどのように対処してきたのか伺う。

A 教育部長 スクールカウンセラーによるカウンセリングは、平成30年度において、当該中学校は毎月実施、2月27日以前には計17回実施しております。内容等は、個人情報保護の観点から答弁を控えさせていただきます。10月の生徒間トラブルにつきましては、現在も、学校において調査・確認作業を行っており、答弁を控えさせていただきます。

質問事項

- 1 法令順守コンプライアンスの市政運営について・いじめ防止条例一中学生傷害事件何故防げなかったのか、再発防止策は・公務員法違反採用事件・市長等政治倫理条例
- 2 市農村部交通不便地域の公共交通について・交通会議における事務担当者発言及び請願趣旨採択と付帯決議について
- 3 かすみがうら市立地適正化計画一神立駅周辺都市計画の整備について



佐藤 文雄 議員



Q 幼児教育・保育における給食費は、無償とすべきではないか、伺う。

A 給食費は、無償化の対象外となっており、実費相当額を各保育所等で徴収となります。

Q 10月からの国の幼児教育・保育の無償化によりこれまで保育料に含まれていた給食費が実費負担となる。年収にかかわらず給食費は無償とすべきではないか、伺う。

A 保健福祉部長 本年10月から幼児教育・保育の無償化により3歳から5歳の全ての児童に対し保育料が無償となりますが、給食費については、みずから自宅で子育てを行う場合も同様にかかる費用のため、無償化の対象外となっており、実費相当額を各保育所等で徴収することになります。本市では子育て支援の施策として主食代は今後も補助を継続してまいります。副食代（おかずやおやつ）は、国の公定単価を参考に各保育所等で金額を決定し、保護者の方にご負担いただくこととなります。

Q 加齢性難聴者の補聴器購入について助成できないか、伺う。

A 保健福祉部長 当市では加齢による難聴の方に対しては行っておりません。国の認知症施策総合戦略において難聴は認知症の発症リスクの一因とされており、平成30年度から補聴器を用いた認知機能低下の予防効果について研究が続いています。市としては、その研究結果や国の動向を注視しつつ現況の把握に努めるとともに、他自治体の状況を踏まえ、慎重に検討してまいります。

質問事項

1 市職員の採用について
2 国民健康保険税の引き下げについて
3 子育て支援について
4 加齢性難聴者に対する補聴器購入について



矢口 龍人 議員



Q 中心市街地に複合施設について今後のスケジュールを伺う。

A 令和3年度以降になるものと考えており、他計画等の整合性を図りながら進めてまいります。

Q 公共施設マネジメント基本計画策定から5年が経過しようとしている中、市長公約である中心市街地に複合施設整備（行政機能、図書館機能整備）のスケジュールについて伺う。

A 市長公室長 昨年度、災害発生時の拠点施設とする行政機能と図書館機能を有する複合交流拠点施設の整備検討に向けまして、神立駅周辺の土地利用の現状と動向を調査した結果を踏まえまして、今年度、J R神立駅周辺市街地における土地利用基本構想の策定に着手をしているところです。複合交流施設の整備につきましては、実施設計等を考慮しますと、令和3年度以降になるものと考えておりますが、公共施設等マネジメント計画並びに立地適正化計画等の整合性を図りながら進めてまいりたいと考えております。

Q 自主防災組織に必要な支援体制について、自主防災組織づくりに必要な条件とは何か伺う。

A 保健福祉部長 市では自主防災組織の結成促進に向けて、区長会総会や市政懇談会等において組織の役割や必要性、結成方法などについて説明をさせていただいたり、広報誌での周知を図っているところです。防災組織の結成は自発的に参加することはもちろん、無理をせず徐々に参加をいただけるよう市としても防災研修会等の実施や地域版防災マップの作成講座、地域の中核となる防災リーダーとして活動できる人材を育成する「いばらき防災大学」の受講の啓発など支援策を検討したいと考えております。

質問事項

1 公共施設等マネジメント計画及び施政方針並びに下稲吉中地区複合施設整備市長公約について
2 まちづくりとしてのコミュニティづくりの課題について
3 自主防災組織に必要な支援体制について



▲ J R 神立駅

櫻井 繁行 議員



Q 交通弱者を救うタクシー利用助成について市の考えを伺う

A より使い勝手のよい形を目指して進めてまいりたい

Q 公共交通の再編に伴い3つの定路線に、タクシーを連携するためタクシーの助成券を配り、交通弱者を救っていくというところが施策だと思うが、この施策にはいろんな不満も挙がっているところがあると思う。市政として、交通弱者にしっかりと寄り添ってサポートしていく事が重要であるが市の考えを伺う。

A 市長公室長 10月1日からタクシー利用助成を開始してまいります。1回乗車につき1枚という制限が、加えられ、議員ご提言のように、確かに利用者に与りましてそのタクシー利用の助成に關しましては、利用の仕方がそれぞれ皆さん違ってくると思います。そのようなことから4月を目途に1回500円、1枚、月6枚というような制限を廃止いたしました。個人の使い勝手、月6枚というようなシステムに変更させていただくようなことも、現在調整させていただいております。より使い勝手のよい形を目指して、進めてまいりたいと考えています。

Q 民間の商業施設やコンビニエンスストアへAEDの設置を推進するには、市として助成制度等も考慮する必要があると考えるが、担当部署の考えを伺う。

A 保健福祉部長 ガイドラインにおいても心停止から5分以内のAED装着ができる体制が望まれており、市内に存在する商業施設等への配置は救命率の向上が期待できますが、AEDは1台の機器自体が高額であり、バッテリーやパッドには有効期限が存在すること、定期的な交換と補修が必要となり、それが原因で企業等での設置が進まない可能性も否定できません。AEDの配置につきましては、市内の配置状況を調査した上で、助成等についても今後調査研究をしてまいりたいと考えております。

質問事項
1 坪井市長が施政方針に掲げる「みんなでつくる連携と協働のまちづくり」について
32 本市におけるAED設置状況について
国連の持続可能な開発目標「SDGs」の学校教育への活用について



▲千代田庁舎設置のAED

中根 光男 議員



Q 合併処理浄化槽への転換について市の取り組みを伺う

A 住宅訪問などにより合併処理浄化槽への転換を促すことを予定しております

Q 公共下水道が通っていない地域で生活排水の処理に役立つ浄化槽、トイレの汚水のみを扱う単独処理浄化槽から台所や風呂の水などもまとめて処理できる合併処理浄化槽への転換を促す改正浄化槽法が成立したが、本市の具体的な取り組み及び計画案について伺う。

A 市民部長 合併処理浄化槽への転換が進むことで河川へ流入する水質などの環境負荷軽減が期待されるところで、本市としても取り組みを進めてまいりたいと考えております。今後の取り組みとして、単独処理浄化槽を使用している住宅へ訪問するなどし、合併処理浄化槽の転換を促すことを予定しております。なお、5カ年の計画として定めている合併処理浄化槽の移行計画に基づき整備の推進を図ってまいりたいと考えております。

Q 認知症対策について、国は2019年度予算案に計上された厚生労働省管轄の関連費用を前年度より2割ほどふやし、取り組みを加速させているが、本市での認知症相談機能の強化について伺う。

A 保健福祉部長 認知症の方やその家族からの相談について、月に1回、気軽に集まって情報交換や相談など安心して過ごせる場所を提供する活動として認知症カフェを解説しているほか在宅介護支援センターにおける相談対応、いきいき健康教室により支援に努めております。認知症地域支援推進員や認知症初期集中支援チーム員、ケアマネージャーが自宅を訪問し、認知症の方とその家族に対し悩み事や困りごとの相談対応などの支援を行っております。加えて、介護長寿課の窓口で認知症チェックタブレットを配置しご利用いただいております。

質問事項
1 合併処理浄化槽への転換推進について
2 認知症対策について
3 読書ハリアフリー法について
4 改正動物愛護管理法について



21

空き家対策の進捗状況について
市民力を活かすための協働施策の進捗状況について

質問事項

A 市民部長 本市基本目標の一つである「みんなでつくる協働のまちづくり」を推進していくためには、市民はもとより、まずは市役所の職員が市民協働とは何かということを理解することが大切であると思われます。議員ご提案の市民協働研修につきましては、研修担当部署と市民協働の担当部署で協議を進めてまいりたいと考えております。

Q 職員の意識改革という見出しで、かすみがうら市民協働のまちづくり指針に「協働の必要性を職員が理解し、協働の視点でまちづくりを積極的に展開できるよう、職員の研修と意識改革に努める。」とあるが、全職員を対象とした市民協働研修に取り組みことを提案するが、市の考えを伺う。

来栖 丈治 議員



A 本年度中の空家等対策計画の策定を進めたい

Q 空き家対策はスピードが重要と認識するが市の考えを伺う

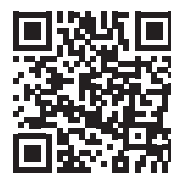
Q 空き家は3年も経つと住めなくなってしまう、空き家対策にはスピードが重要であると認識する。空き家になる前に終活や相続人の相談に応じられるような窓口が必要と感じるが、市の考えを伺う。

A 市民部長 空家等対策計画につきましては、当初のスケジュール案から遅れており、大変心苦しく感じているところです。今後につきましては、本年度中の計画策定を進め、いただいた意見を真摯に受け止め、対策業務に生かしてまいりたいと考えております。



かすみがうら市議会ホームページでは、開かれた議会を目指し、さまざまな情報を発信しています

本会議開催日には生中継を行い、また、録画放映や、会議録の検索など市議会の情報を多数発信しております。スマートフォンにも対応しております。ぜひご覧ください。



▲市議会ホームページQRコード



▲市議会ホームページのトップページ



▲録画放映のイメージ
議案の起立採決も放映できるようになりました



▲市議会ホームページ
議員名簿一覧のページ

